



# Ten colors ~自分色~

令和8年1月7日 発行 NO.10

認定こども園にちなん十色

TEL (0859) -82-0626 FAX (0859) -82-0520

Male address s 0310@town.nichinan.lg.jp



アンケートのご協力、ありがとうございました！

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。年末は感染症が流行し、体調を崩された方もたくさんおられました。まだ感染症が流行する時期ですので、手洗い、うがいをしっかりしていき、予防に努めていきましょう。

年末には、保育・教育アンケートへのご協力、ありがとうございました。今回は回答率78%と前回より回答率が大きく上回りました。ご協力に感謝申し上げます。

異年齢でのこども同士のかかわりについては、たくさんの良い評価をいただき、かかわりあう力の育成につながっていると感じました。

ふるさとを愛するこころについては、まちのことを話たり、地域の行事に参加することが少ない傾向にあり、CSサポーターさんとの新たな交流や、親子で地域を知る機会を考えていきたいと思います。

※3月の園だよりで、前期、後期のアンケート報告を具体的に行いますので、よろしくお願ひいたします。

## 日南町家庭教育講演会「こどもの成長サインに気づくコツ」より

11月に日南町文化センターで開催された、家庭教育講演会に参加しました。脳の発達年齢による特徴の話は、「なるほど」「初めて知った！」と新たな気づきがたくさんありました。

5.6歳の時期は、大人が言うことは正しいと教える時期であり、それにより人を信頼する力がつくそうです。大人が見本となり、正しいことをしっかり教える必要があると改めて感じました。

また、小中学校の時期に尊敬する人、あこがれの人が見つかると、人生を意欲的に生きることができるので、いろいろな人との出会いを演出したり設定していく必要があるそうです。

家庭でも環境設定をしていき、子ども達の意欲につなげていきたいですね。

## 未来を創る

### 怒って泣きわめいていた子がガラッと 変わる…の巻 『脳を鍛えるとは?』

「感情をコントロールする能力は、幼少期から脳の前頭前野を適切に鍛えることが重要である」と澤口氏は言われます。

例えば、食事の時ってどの家庭も大変さがあるかと思います。でも、「待ってね」に実はこの前頭前野を鍛えるポイントがあるようです。そばにいる大人が、「みんながそろってから“いただきます”しそうね」「日々の恵みに感謝してから食べようね」と繰り返し話すことで、子どもは「待つ」ことを覚え、やがて行動をコントロールできるようになっていくようです。

澤口氏は、前頭前野発達を促す効果的な方法として、例えばピアノの練習や絵本の読み聞かせを挙げておられました。ピアノを演奏する際には楽譜を読み、指を動かし、リズムをとるという複雑な作業を同時にこなす必要があります。この複雑な作業が前頭前野を刺激するとのこと。料理、クッキング…といったことも同じようなことですね。また、絵本の読み聞かせは、物語を通じて様々な感情体験をすることができ、言葉の理解力を高め、想像力や共感性を育むことができます。身近な生活の中でまだまだ沢山の『脳を鍛える』遊びや、しかけ、お手伝いなどもあるかと思います。脳の前頭前野、みんなで鍛えていきましょう。

脳科学者 澤口俊之『脳科学で知る！世界一分かりやすい「怒りの教科書」参照